

事務事業名		いわての復興教育学校支援事業		☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	06 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間		予算科目				
	施策名	27 義務教育の充実				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	03 社会変化に対応した教育の推進				01	10	02	02	14
根拠法令										
所属	部課名	教育委員会事務局 教育研究所		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 20 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入						
	課長名	千田 晃一								
	係名		電話		0192-27-3111					
	担当者	関戸 文則	内線		264					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)				
本事業は、平成24年度からの単年度事業である。復興教育推進校を指定し、特色ある復興教育の推進に対して支援を行うとともに、これらの取組成果の普及・発展を図り、今後の復興教育の充実に資するための補助事業である。 本事業を推進する学校は、事業計画書等の必要書類を作成し、教育委員会に提出する。教育委員会は、学校から提出された事業計画書等をもとに市の事業計画書等の必要書類を作成し、教育事務所に提出する。						総投入量 (千円)	事業費内訳	国庫支出金	400	
								都道府県支出金		
								地方債		
								その他		
								一般財源		
								事業費計 (A)	400	
人件費	正規職員従事人数									
	延べ業務時間									
	人件費計 (B)	0								
	トータルコスト(A)+(B)	400								

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 推進校として、吉浜小学校と綾里中学校を指定した。吉浜小学校は防災教育、綾里中学校は地元の産業であるほたてや鮭の学習を行うとともに、伝統芸能である剣舞に取り組み、発表を行った。両校とも特色ある復興教育を推進した。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 今年度は、越喜来中学校、綾里小学校を推進校に指定する。	➡	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
		名称	単位						
		ア	各学校の活動回数	回					
		イ							
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 県の指定を受けた学校の児童・生徒	➡	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)							
		名称	単位						
		カ	児童生徒数	人					
		キ							
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 特色ある復興教育を推進することにより、児童生徒が復興について主体的に思考、判断、表現できるようにする。	➡	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)							
		名称	単位						
		サ	地域の一員としての自覚、地域を復興していこうとする意識が高まった児童生徒数	人					
		シ							
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 地域の一員としての自覚、地域を復興していこうとする意識が高まる。	➡	ス							
(2) 総事業費・指標等の推移									
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円		362	400	400	400	400
		事業費計 (A)	千円	0	362	400	400	400	400
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	0	30	30	30	30	30
		人件費計 (B)	千円	0	120	120	120	120	120
		トータルコスト(A)+(B)	千円	0	482	520	520	520	520
		⑤活動指標	ア	回	0	20	20	20	
			イ						
ウ									
⑥対象指標	カ	人	0	237	135	164			
	キ								
	ク								
⑦成果指標	サ	人	0	237	135	164			
	シ								
	ス								

事務事業ID	1545	事務事業名	いわての復興教育学校支援事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 本事業は、平成24年度からの単年度事業である。東日本大震災津波のつらく悲しい体験をそのまま終わらせることなく、「郷土を愛しその復興・発展を支える人材の育成」を進めていくという趣旨のもと、全ての市町村に復興教育推進校を指定し、特色ある復興教育の推進に対する支援及び取組成果の普及・発展を図り、今後の復興教育の充実に資するための補助事業として開始された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
 意義のある提言に学校が応えてきたことにより、保護者、地域住民の学校経営への参画意識が高まってきている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 特になし。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 児童生徒は、復興教育を通して地域や地域や地域の人たちとの関わりを通して、豊かな心を育むことを推進することができ、政策体系に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒ なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 地域人材の効果的な活用も含めた実践的な取組を推進することにより、当該地域全体の教育活動の向上を図ることができるので必要である。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 学校が中心となる事業であるため、対象を児童生徒に限定するべきである。意図を拡充すると、特色ある復興教育が達成されないおそれがあるため、拡充する必要はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 推進校が目標を明確にして事業に取り組んだことで、防災に対する意識、児童のキャリア意識形成、地域への感謝の念等々について意識変容が見られた。市内の学校が、引き続き実施することで、成果は向上する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 「郷土を愛しその復興・発展を支える人材の育成」を目指し、特色ある復興教育を推進しようとする学校を支援する機会が失われる。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 本事業は、県教育委員会による指定であるため、類似事業との統廃合・連携は、趣旨に合致しない。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】⇒
	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費を削減すると、特色ある復興教育の推進が計画通りに進まない。よって、事業費を削減する余地はない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 岩手県教育委員会による指定であるため、延べ業務時間を削減したり、正職員以外の職員や委託することは、趣旨に合致しない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 本事業の結果が、市内各小中学校の参考となるので、一部の受益者に偏っていて不公平であるとはいえない。

事務事業ID	1545	事務事業名	いわての復興教育学校支援事業
--------	------	-------	----------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 適切である。																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 現状維持。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし。																							

(職 名) ※原則として施策の主管課長 (氏 名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	学校教育課長	千田 晃一
-------	--------	-------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(3) 評価結果の根拠と理由 適切である。																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 現状どおり継続して実施するのが望ましい。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
